聞

二年

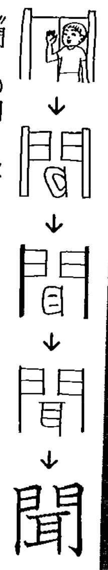
画数 14

筆順 丨 戸 門 門 聞 聞

オン ブン・モン

クン き=く=こえる

成り立ち



"門"の間に"耳"を入れたもので、門の間からきこえてくるものおとやこえに耳をすませて"きく"ことをあらわした字です。"きく"こと、また、"きこえる"こと。

「きいてえた"ちしき"」といういみ。

また、「耳にきこえてくる"ひょうばん"」といういみにもつかわれます。

〔ブンは漢音、モンは呉音〕

使い方

▽なにか、かぼそいおとが聞こえたので、耳をすますと、それはミャーミャーとないている子ねこのこえでした。かわいそうに、だれかにすてられたらしいのです。

▽だいどころから、カチャカチャとしょっきのふれあうおとが聞こえてきました。もうすぐ、ゆうはんのじかんです。

熟語例

▽見聞（ケンブン）（見たり聞いたりすること。また、見たり聞いたりしてえられるちしき。「見聞をひろめる」といえば、ひろいせけんのいろいろなちしきをあつめる、といういみでつかわれます。）

▽伝聞（デンブン）（伝え聞き。じかに見聞きしたのではなくて、人から伝え聞くこと。「伝聞だから、たしかなことはわからないけれど……」などといいます。）

▽醜聞（シュウブン）（わるいひょうばん。ある人についての聞こえのわるいうわさ。）

▽聴聞（チョウモン）（「仏のおしえを聞く」ことですが、今は「人の意見を聞く」いみにつかいます。）

米

二年

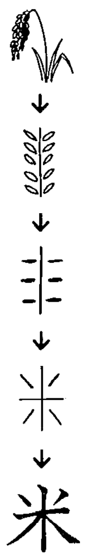
画数 6

筆順 丶 丷 䒑 半 米 米

オン ベイ・マイ

クン こめ

成り立ち



いねのほにいねのみ（こめのこと）がついているかたちをあらわした字で、"こめ"ということばをあらわした字です。

"こめ"は"いねのみ"で、これをたいてたべられるようにしたものを"飯（めし）"または"ご飯（ハン）"といいます。

また、アメリカのことを"米国（ベイコク）"といって、アメリカのいみにつかいます。アメリカということばが、メリカというようにきこえたので、"米利加（メリカ）"とかいたことによります。

使い方

▽米は殻（から）をかぶった作物（サクモツ）（田や畑に作る物のこと）なので穀物（コクモツ）といいます。殻がついた米は"もみ"といいます。もみから殻をとったばかりの米を玄米といいます。玄米をつくとくろいかわがとれて、白米になります。

熟語例

▽玄米（ゲンマイ）（玄はくろいこと。もみから殻をとったばかりの米はくろいかわにつつまれているので玄米といいます。）

▽白米（ハクマイ）（玄米をついてくろい皮やはいがをとりさった米のこと。いろが白いので白米といいます。）

▽精米（セイマイ）（玄米をついて白くすることを精白（セイハク）するといいます。精白した米、といういみ。白米のことです。）

▽米穀（ベイコク）（米のこと。また、米やその他の穀物のいみにもつかわれます。）

▽欧米（オウベイ）（欧は欧州（シュウ）でヨーロッパのこと。「ヨーロッパやアメリカ」といういみのことばです。）

▽米を数（かぞ）えて炊（かし）ぐ（米つぶを数えてごはんを炊（た）くということで、「つまらぬことに手間（ま）をかけること」。）